MUSEUM NEWS

2018.2 ▶ 2018.3

版画の景色　現代版画センターの軌跡

とき・1/16(火)〜3月25日(日)
ところ・2階展示室
内容・版画の普及とコレクターの育成を目指した現代版画センター(1974-1985)は、およそ80人の美術家と700点余りの作品を世に送り出しました。多くの美術家や批評家が寄稿した「現代版画センターニュース」等の出版活動も、版画をめぐる時代の熱気を伝えます。この展覧会では、作品と資料から、その活動の軌跡をたどります。
※会期中に一部展示替があります。
前期：1/16(火)〜2/18(日)／後期：2/20(火)〜3/25(日)
観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションも御覧いただけます。

柳澤紀子《時の移ろい―夏めく》1982年｜銅板（刷り：山村兄弟版画工房）｜シルクスクリーン（刷り：岡部徳三）
現代版画センター エディション537｜有限会社ワタヌキ／ときの忘れもの所蔵

堀浩哉《<プリント・シンポジウム>より、公園》1982年｜シルクスクリーン（刷り：野々宮幸雄）
現代版画センター エディション497｜有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの所蔵

《関連イベント》
○ トークイベント「ウォーホルの版画ができるまで―現代版画センターの軌跡」
とき・3/18(日)14:30〜16:30(開場は30分前)
ところ・2階講堂
内容・第一部では、伝統版画家をお招きし、エディション作品の提案やオークションの開催など、時代に先駆ける活動を展開した現代版画センターの活動を振り返ります。第二部では、同センターの活動において欠かすことができない存在であり、ウォーホルをはじめ多数の作家との共同作業を担った刷師をお招きし、同センターのオリジナルエディションについて語っていただきます。
第一部・西岡文彦(伝統版画家・多摩美術大学教授)
　　聞き手：梅津元(当館学芸員)
第二部・石田了一(刷師・石田了一工房主宰)
　　聞き手：西岡文彦
定員・当日先着100名／**費用**・無料

○ 担当学芸員によるギャラリー・トーク
とき・3/10(土)15:00〜15:30
ところ・2階展示室
内容・担当学芸員が展覧会の見どころをご紹介します。
費用・企画展観覧料が必要です。

【スライドトーク】ご希望のグループにスライドを使って見どころをご案内します

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

とき・土曜日13:30〜15:00(実施時間が異なる事業があります)
対象・幼児から大人まで
費用・無料。
申込方法・開催月の前月1日から申し込みを受け付けます。館内で配布する申込用紙によりFAXでお申し込みください。ホームページにて申込用紙のダウンロードや申し込み状況の確認ができます。

■ 2月
2/10(土)10:30〜15:30 みる＋つくる（SMF）[小・中学生]
2/24(土)10:30〜15:30 みる＋つくる（SMF）[小・中学生]
※Saitama Muse Forumより作家をお迎えしてのワークショップです。内容は異なります。

■ 3月
3/10(土)　みる＋つくる（企画展物語）[小・中学生]
3/24(土)　みる＋つくる（MOMASコレクション）[小・中学生]

MOMASコレクション(収蔵品展)

■2017年度 第4期
とき・1/6(土)〜4/15(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇ セレクション：ルノワールとかピカソとか
印象派のルノワールや、キュビスムの画家ピカソの作品など、西洋近代絵画の名品を中心に近代美術館が誇る収蔵作品を紹介します。
◇ とう・かたる ― 人と美術の出会いの中で
作品と人々の間で起こる問いと語りに焦点をあて、人と美術が出会う現象を紹介します。
◇ 小特集：小村雪岱のイラストレーション
情緒あふれる人物描写、小気味よい画面構成で人気が高い県ゆかりの画家・意匠家である小村雪岱の作品や資料を紹介します。

※会期中の毎日14:00から30分程度、1階展示室で美術館サポーター(ガイド・ボランティア)による作品ガイドを開催しています。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

《関連イベント》
○サンデー・トーク
内容・学芸員が展示作品から1点を選んで展示室内で解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。
とき・2/4(日)15:00〜15:30
作品・イヴ・タンギー《無題》1947年
学芸員・平野到
とき・3/11(日)15:00〜15:30
作品・元永定正《聖火》1964年
学芸員・石井富久

イヴ・タンギー《無題》1947年

元永定正《聖火》1964年

一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
※展示により開室時間（特に最終日の終了時刻）が異なります。

◆ 2/6(火)〜2/11(日)
第41回埼玉国展(油彩、写真)…… 一般展示室1
女子美術大学同窓会埼玉支部作品展「第12回彩の会」(絵画、版画、彫刻、工芸ほか)…… 一般展示室2〜4
◆ 2/13(火)〜2/18(日)
第14回埼玉県ネーチュアーフォト支部写真展(写真)…… 一般展示室2
個展, 大久保和繪(水墨画)…… 一般展示室3
第7回彩友会ボタニカルアート展(水彩)…… 一般展示室4
◆ 2/17(土)〜2/18(日)
埼玉県小・中学校児童生徒美術展第10回中央展覧会(水彩、版画、彫刻、工芸ほか)…… 一般展示室1
◆ 2/20(火)〜2/25(日)
文教大学美術専修卒業制作展(日本画、油彩、彫刻、工芸)…一般展示室1
野美展(絵画、彫刻、工芸ほか)…… 一般展示室2
飯塚寛文風景写真展「水色」(写真)……一般展示室3
◆ 2/20(火)〜3/4(日)
ヨシズミトシオ展(油彩、版画、水墨画ほか)……一般展示室4
◆ 2/27(火)〜3/4(日)
平成29年度埼玉大学美術専修卒業終了制作展・彩展2018(絵画、彫刻、工芸)…… 一般展示室1〜3
◆ 3/6(火)〜3/11(日)
金子勝一個展(油彩)…… 一般展示室2
41回現展埼玉支部展(油彩、版画、写真ほか)…… 一般展示室3・4
◆ 3/13(火)〜3/18(日)
第43回埼玉書道三十人展(書)……一般展示室1
第17回写真サークル「観悠」作品展(写真)……一般展示室3
武蔵野写真(写真)……一般展示室4
◆ 3/20(火)〜3/25(日)
第23回彩の国さいたまきりえ展(きりえ)…… 一般展示室2
第22回さきたま書人展(書)……一般展示室3
彩の国写真倶楽部第14回展(写真)……一般展示室4
◆ 3/27(火)〜4/1(日)
第46回主体美術武蔵野作家展(水彩、油彩、ドローイング)…… 一般展示室1
第9回関口健司展(水彩)…… 一般展示室2
染色画大槻綾子展(工芸、書)……一般展示室3
a ri A Ru Creationz芸術企画・恒星個展ほか(絵画、版画、写真ほか)……一般展示室4

開館35周年記念 美術館につとめてみたら …… ⑥
35周年企画を担当してみたら

7月から12月まで開催した当館の開館35周年企画は、「みなさまとともに」をコンセプトに企画し実行しました。ベストデザインの椅子グランプリ、開館記念大感謝祭、メッセージ募集等々…そのどれもが皆さまがいなければ成立しない企画であり、また多くの方にご参加いただいたことが最高の開館記念のプレゼントでした。そこでこの開館35周年度最後のソカロにて、集まったメッセージをご紹介する形で、皆さまから当館への愛を自慢させていただきます。

当館では開館記念展からはじまり、この35年間で160本を超える企画展を開催してきました。『毎回毎回企画展を中心に楽しませていただいています。理解を深めたくて2、3度と行くこともしばしば。』『企画展のボリュームに毎回圧倒されます。入口から軽いジャブをかまし、途中映像ブースで休憩し、展示室最後までラストスパートかと思いきや、おまけの小部屋があるという。そんなモマスを応援しています。』というコメントや、過去に開催した企画展をもう一度！といったリクエストなど、当館での企画展について多くのメッセージをいただきました。これからもより多くの皆さまにお楽しみいただけるよう、様々な企画展を開催していきます。

エントランス丸柱にメッセージを展示させていただきました。

企画展だけではなく、所蔵品やそれらを活用したコレクション展も当館の見どころの1つです。『1F展示室のモネの「積みわら」を見るたびに開館時のことを思い出し懐かしく絵の前に立ちます。』『岸田劉生の路傍初夏という作品は、私が20代の頃のかなり前からの近代美術館の所蔵なので、観るたびに、旧友に会ったような懐かしさを感じます。』『公園内に黒川紀章さん設計の中銀カプセルタワーの実物があり、美術館自体も黒川さん設計なのも見所』と、当館に繰り返し足を運び、屋外も含めてお楽しみいただけていることに喜びを感じます。

また35年という月日は、当然ですが生まれたての赤ちゃんが自分の人生を歩む年齢になるくらいの長さです。『小さいころ、公園の彫刻で遊びました。大きくなって子供ができ、一緒に公園の彫刻で遊んでます。』『開館当初は大学生、そして子育ての際に噴水とともに何度も来ていました。』『ここ北浦和で生まれ育ち近代美術館へはよく両親や学校で訪れていました。これからも憩いの場としてますますの発展をお祈りしています。今日は4歳の娘と一緒に初めて来ました。』などのメッセージから、世代を超えて当館に親しんでくださる様子を感じられて嬉しく思います。

皆さまからの愛を糧に、これからもコレクションを充実させ、様々な企画に挑戦していきます。これからも応援よろしくお願い致します。35周年企画にご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。(Y.S.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、「暮らしを彩るいろわし おりがみ小箱」のご紹介です。岐阜県美濃和紙を使用しています。厚めの和紙なので小箱を作るとしっかりとした物に仕上がります。ちぎり絵用としてもお使いいただけます。ちょっとしたメッセージを書いて添えるのも、かわいくていいですね。(I.M.)

おりがみ小箱
12柄各10枚合計120枚入
70×70mm
各600円(税別)

編集後記

開館35周年記念イベントは、瓢箪から駒、のようなアイデアをうまくすくいあげながら、準備しました。様々な場面でご参加いただいた方々に感謝。個人的には、ソカロの故郷「ソカロニア」が、たった一日ですが、この世に出現したこと、感謝しています。(G.U.)

冬場は彩のある被写体がなかなか無いので、たびたび夜の横丁を撮りにいっています。赤提灯の柔らかい光ってグッときますよね。(S.I.)

わたしをひらく MOMAS Kita-Urawa　35th ANNIVERSARY / MOMAS 開館35周年

埼玉県立近代美術館 The Museum of Modern Art, Saitama
所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 **FAX**・048-824-0119 **URL**・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00〜17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日・月曜日(2/12は開館)　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

彩の国 埼玉県　©埼玉県2005

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・教育・広報担当 梅津元・飯島俊　**原稿執筆**・(R.G.) 五味良子 / (Y.S.) 菖蒲澤侑 / (I.M.) 宮前いづみ / (G.U.) 梅津元 / (S.I.) 飯島俊　**デザイン協力**・埼玉大学 高須賀研究室